



R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会長:富永 雅弘 幹事:坂元 崇
事務所:佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場:佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 29 年 10 月 11 日

第 3,279 回例会

NO 14

《本日》会員数 80 名(出席免除会員 24 名)・出席 54 名・免除者欠席 10 名・欠席 16 名・ビジター 1 名・出席率 67.50%

《前々回》会員数 80 名(出席免除会員 24 名)・出席 56 名・免除者欠席 6 名・欠席 18 名・メークアップ 18 名・修正出席率 100.00%

会長挨拶

会長 富永 雅弘

10月は米山月間です。これは米山奨学事業を推進しようとするものであり、その目的は海外からの優秀な留学生に勉学のための資金を支援するとともに、カウンセラーや世話クラブとの交流を通してロータリーの精神を学び、国際理解を深め、日本と母国の架け橋となる国際親善に尽くす人材を育てる事にあります。

米山奨学生の対象は、日本以外の国籍を有し、または法務大臣から難民の認定を受けている米山奨学会が指定する大学などに在学中の学生です。2017年には全国で585名の学生を募集している日本で最大の民間留学生支援事業です。この事業の財源はすべてロータリアンの寄付であり、佐世保ロータリークラブでも昨年度末までに累計で約8,400万円の寄付を行っており、この功績は日本でもトップクラスにランクされています。

奨学生は学部生で月額10万円、大学院生で月額14万円の支援があります。義務としては、世話クラブの例会へ毎月1回以上の出席や年2回のレポートの提出、所属ロータリー地区のクラブへの卓話や奉仕活動への参加が求められています。当クラブでも11月に米山奨学生の卓話を予定しています。

佐世保ロータリークラブでは米山奨学制度と同じような目的で、国際交流基金を設けています。これは1988年度にマカオから長崎県立大学へ留学していた学生を、米山奨学生と



して当クラブより推薦していたのが不採用となった為に、その学生の経済的な窮状を見かねて、佐世保ロータリークラブ独自の奨学金制度を基金として創設したものです。その後長崎短期大学、長崎国際大学と支援の対象を拡大し2004年の中国からの留学生の支援まで22名の支援を実施しています。

この他、インドからの交換学生であるジナン君などの地区交換学生の派遣および受け入れ、ロータリー財団奨学生などの取り組みも行ってきました。佐世保ロータリークラブでは以上のように学生への支援に積極的に取り組んできた実績があります。今後とも先輩方に築いていただいた功績を大切にしながら、学生や青少年といった次世代、新世代への支援を続けていくことが必要だと考えます。

例会記録

- ロータリーソング「それでこそロータリー」
- 卓話者
九州旅客鉄道(株) 佐世保駅長 井手 靖則様

幹事報告

幹事 坂元 崇

1. 第2740地区ガバナー事務所
2740地区ホームページ更新お知らせ
九州北部豪雨災害義捐金につきましたの
お礼とご報告&新聞記事
2. 佐世保市文化振興課
第6回させば文化マンス実行委員会
実行委員長 遠田 公夫さん

第6回 させぼ文化マンス特別公演・広報ご協力のお願い

小川慶太のリズムwithクラリス・アサド
日時／2017年11月4日(土)
18:00開場 18:30開演
会場／アルカスSASEBO 大ホール
学生招待券20枚

3. 聖和女子学院中学校・高等学校

校長 卜部 篤志 様

『第36回チャリティーコンサート聖和音楽のつどい』開催について(ご招待)

日時／10月28日(土)
13:30開場 14:00開演
会場／アルカスSASEBO 大ホール

委員会報告

■親睦活動委員会 委員長 坂本 敏

先週の観月例会には多数のご参加ありがとうございました。残念ながら私は東京出張の為、参加出来ず申し訳ございません。東京で見る月はあんなにキレイだったのに、佐世保では大変な事になっていると後で聞かされビックリでした。廣瀬副委員長をはじめ親睦活動委員の方にはご迷惑をかけました。お世話になりました。



■資金推進・財団・米山委員会 委員長 菅沼宏比古

富永雅弘会長より、(公財)ロータリー米山記念奨学会へご寄付をいただきました。



その他の報告

次期会長 古賀 巖

ジナン氏歓迎報告

前回 (No.13) の「その他の報告」に掲載しております。ご参照ください。



雑誌の時間

クラブ会報・広報委員会 西田 勝彦さん

今日は、雑誌の時間の発表者として、久しぶりにこの場所に立つことになりました。



さて、今日のこの時間、何を発表しようかと、これまでほとんど積ん読だけだった『ロータリーの友』を開いて眺めていたところ、2017年9月号の「よねやまだより」が目に入ってきました。

そう言えば、私のもう一つの所属する委員会は、ロータリー財団委員会で、しかも担当が「資金推進・財団・米山」です。

また、10月は経済と地域社会の発展月間であり、米山月間でもあります。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会(以下「米山記念奨学会」という)は、勉学または研究のために来日し、大学等教育機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、よって、ロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的として、1967年、当時の文部省(現在の文部科学省)から財団法人の許可を得て財団法人ロータリー米山記念奨学会として設立され、本年7月1日、財団設立50周年を迎えています。

私は今月、ロータリーに入会して3年目を迎えています。私が入会后、18人の方が新しく会員となっております。そこで、今日は、この米山記念奨学会の、特に寄付金についてお話ししたいと思います。

『「米山記念奨学会」の寄付は、どげんしたらよかと?』と疑問に思ったのは私だけかもわかりませんが、「そがんときは、事務局の山田さんに聞けばよかたい」と言ってしまったら、身も蓋もありません。

2017-2018年度の寄付金収入は、13億7,305万円で前年度と比べると約2億円の減となっているそうです。減少した主な原因は、前年度に超大口寄付が相次いだことにあるそうですが、年度当初の予算額の13億3,000万円は達成されたとのことでした。

奨学生の数は、寄付額と連動しており、2017学年度は前年度から40人増えて780人の枠が確保され、来年4月の採用枠はさらに40人増の820人枠とされています。

寄付金は、普通寄付金と特別寄付金の2種類があります。普通寄付金は、佐世保RCから会員数に応じて納入されていますので、各個人が個別に行う任意の寄付が特別寄付金となります。

この特別寄付金は、金額に決まりはありませんが、寄付金の累計額によって表彰品が贈呈されます。ちなみに、累計額が3万円に達したら準米山功労者(これには表彰品はありません)、10万円に達したら第1回米山功労者、表彰品は青色の感謝状、以降10万円毎に第2回から第9回は米山マルチプル、第10回目以降は米山功労者メジャードナー金色の感謝状とピンバッジが贈呈されます。

また、個人会員が寄付した場合は、税額控除か所得控除を選択して、税制上の優遇措置を受けることができますので、これを機会に特別寄付金について検討されてみてはいかがでしょうか。

最後に、寄付をするには所属するクラブを通じて送金することになっています。やはり「事務局の山田さんに聞かんばいかん」ですね。

慶 祝

親睦活動委員会 安福 竜介

○今月の誕生祝い

大久保利博さん (8日)
平尾 幸一さん (9日)
西村 一芳さん (10日)
大神 吉史さん (11日)
川添 秀則さん (11日)
森 信正さん (18日)
川口 博樹さん (18日)
石田 謙二さん (21日)
岩崎 友晴さん (26日)
坂本 敏さん (28日)
古賀 久貴さん (28日)



ニコニコボックス

親睦活動委員会 安部 雅隆
親睦活動委員会 委員長 坂本 敏さん

先週の観月例会には多数ご参加いただきありがとうございます。私が東京出張に行ったばかりに佐世保では大変な事になっていたと聞かされ、大変申し訳なく思っております。留守を任せていた廣瀬副委員長にはお世話になりました。ありがとうございます。残りの事業は私が完璧に遂行いたします。よろしくお願ひします。

福田 金治さん、木村 公康さん

朗遊会にて入賞しましたのでニコニコします。

米倉洋一郎さん

朗遊会にて優勝しました。ダブルペリアのおかげです。

富永 雅弘会長、坂元 崇幹事
赤木 征二さん、徳川 晃尚さん
木下 貴夫さん、松尾 貴さん

JR佐世保駅 駅長 井手靖則様の卓話に期待してニコニコします。

大久保利博さん、平尾 幸一さん
大神 吉史さん、石田 謙二さん
岩崎 友晴さん、坂本 敏さん

誕生月のお祝いありがとうございます。

ニコニコボックス 本日合計 17,000 円
累 計 377,000 円

卓 話

『JR九州の誕生から未来へ』
九州旅客鉄道株式会社
佐世保駅長 井手 靖則 様



JR九州は今年度、おかげさまで30周年を迎えることができました。また、昨年度は念願の東証一部に株式を上場することもできました。これはひとえに、皆様方がJR九州を支えてくださった賜物

であります。この場をお借りし、お礼を申し上げます。

1. 国鉄時代について

- 日本での鉄道は、1865年に長崎市民病院前付近の600メートルの区間で蒸気機関車が走ったことが始まりと言われている
- 1916年鉄道国有法が制定、全国17の民営鉄道が国有化された
- 終戦後の1949年に日本国有鉄道が公共企業体として発足した
- 1964年(S39)の東京オリンピック直後から高度経済成長が始まり、高速道路網の整備・航空路線の発達などで旅客輸送における鉄道のシェアが20年で20%減少し、国鉄は競争力を失っていく

2. 国鉄民営化について

- 1982年(S57)に鈴木内閣の下で発足した第二次臨時行政調査会にて国鉄分割・民営化の方針
- 1987年(S62)4月に国鉄は6つの旅客会社と貨物会社に分割された
- 国鉄の長期債務約37兆円の一部は本州三社（東日本、東海、西日本）が負担
- 大幅な赤字が見込まれた三島会社（北海道、四国、九州）には経営安定化のため「経営安定基金」が設置された

3. JR九州発足について

- 完全に民営化するために取り組むべき課題としては、大きく三つが挙げられた
- 1点目は、何よりもお客さまを第一に考える「社員の意識改革」
- 2点目は、巨大な営業損失をカバーするための「収支改善」
- 3点目は、地域の皆さまのニーズを把握し、地域に貢献するための「地域密着」

4. JR九州発足～現在までについて

- 「JR九州グループ中期経営計画2016－2018」において、グループ全体で4,000億円の営業収益を目指す
- JR九州発足から30年間で、九州新幹線全

線開業、ななつ星in九州など観光列車、経営の多角化、九州全土でのまちづくり、株式上場の実現を果たした

5. 今後の展望

- 熊本駅周辺の再開発、長崎駅周辺の再開発などの駅ビル関連事業
- 九州エリア以外（首都圏など）にも進出しているホテル事業
- JR沿線以外にも展開、福岡市の六本松地区などにおけるまちづくり事業
- アジアを中心とした海外での各種事業展開

今後とも、JR九州およびJR九州グループをよろしくお願い申し上げます。

* 10～11月 例会卓話者予定 *

10月25日 会員卓話

2018～19年度地区幹事 増本 一也さん

2018～19年度地区大会実行委員長

橘高 克和さん

11月1日 新会員

黒江 章雄さん

(株九電工 佐世保営業所長)

11月8日 米山奨学生

リン カミン君

(台湾出身 学校：長崎外国語大学)

11月15日 新会員

川添 秀則さん

(長崎文化放送(株) 佐世保支社長)

* 長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定 *

日時／10月19日(木) 19:00(食事)～

会場／長崎国際大学 食堂

日時／10月26日(木) 19:00(食事)～

会場／ホテルオークラJRハウステンボス

※10月は、8月に出来なかった例会の振替のため1回多くなっています。

* 西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、メイクアップにもなりますのでご活用ください。

* RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認をいたしますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当：木下 貴夫)

(カメラ担当：中嶋 徹)

クラブ会報委員会

委員長 筒井 和彦
副委員長 徳川 晃尚

委員 田中 信孝・中川 知之・西田 勝彦
木下 貴夫・中嶋 徹・川添 秀則